

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 千歳市立東千歳中学校  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）  
所在地 〒069-1183  
千歳市幌加 731-117  
E-mail jh-higashi.b@ed.city.chitose.hokkaido.jp  
Website \_\_\_\_\_  
幼児児童生徒数 男子 5名 女子 7名 合計 11名  
幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

本校では、「主体性、協働性を磨き、グローバル社会を生き抜く力に漲る生徒の育成」という目標のもと、「地域に根差した活動」と「世界に目を向けた活動」を軸に生徒たちが、持続可能な社会の担い手として必要な下記のような資質、能力を身につけさせることを目的として活動しています。

- 地域に根差した活動を行い、地域社会の担い手としての意識を高めることができる生徒の育成を目指す
- 世界的な課題に目を向け、その解決に向け自分たちができることに積極的に取り組む生徒の育成を目指す
- 平和を維持する国際社会の一員としての自覚と責任を身に付けることができる生徒の育成を目指す。
- 人権の意義を理解し、自ら人権意識を高める生徒の育成を目指す
- 文化の多様性を尊重する態度の育成を目指す。

### 1. 地域に根差した活動

#### (1) 農業体験学習（全学年 4月～9月 総合的な学習）

地域の基幹産業である農業について実際に体験を通して学習するとともに食の大切さについても考えを深める取り組みを行いました。主にかぼちゃの栽培を行い、収穫したかぼちゃを地域の秋祭りにおいて販売し、売上金をマンマーの教育支援に募金をしました。



(2) 校外清掃活動（全学年 6月 総合的な学習）

学校の所在地である「幌加地区」の環境保全会の皆さんと共に、学校周辺の校外清掃活動を実施しました。生徒と保全会の方々が三つの班を編成し、各方面の道路沿いの清掃活動を行いました。また、ゴミの不法投棄、ポイ捨てをなくすために啓発看板を作成し、地域に設置しています。この活動は、理科の環境に関する学習と関連付けて実施しています。



(3) 下の句カルタ大会の開催（全学年 10月～12月 総合的な学習）

地域の伝統的な文化として根付いている「下の句カルタ」を、地元の愛好者と共に交流したり大会を開催したりして、地域の大切な文化を継承することに取り組んでいます。



(4) アイヌ文化学習（全学年 10月 2時間 道徳）

アイヌ文化振興・研究推進機構より講師に來校いただき、北海道の先住民族であるアイヌ民族の文化、歴史を知るために道徳の授業を実施して、人権の尊重、文化の多様性の尊重などの価値観を育成しています。また、この授業に関連して、地元の講師による人権教室も開催しています。



## 2. 世界に目を向けた活動

(1) 募金活動及び国際交流（全学年 9月 総合的な学習）

農業体験活動でかぼちゃを販売した売上金を、ミャンマーの子供たちの教育支援金として寄付しました。また、支援した子供との手紙での交流を促進し、コミュニケーション力の向上を図ると共に、ミャンマーの現状について調べ学習を行い、地域の秋祭りで情報発信しました。



(2) 世界を知る授業（全学年 2時間 12月 総合的な学習）

JICA 青年協力隊員の帰国者を招き、地球的課題について世界の現状を知る授業を実施しました。この授業は社会科の授業と関連付けて実施しています。



(3) 英語暗唱大会への参加（全学年（希望者）10月 課外活動）

地元のユネスコ協会が主催する英語暗唱大会に積極的に参加し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図っています。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. シオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他 ( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他（自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他（自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

『21世紀の平和を考えるシリーズ 6巻』 大貫美佐子 監修 ポプラ社 『できるぞNGO活動』5巻 ホルプ社 『日本各地の伝統的な暮らし 7 北国アイヌの伝統的な暮らし』 小峰書房 『学校ではじめるエコ活動 私たちにできること』 金の星社 『食の総合学習 4巻』 あかね書房 『mundi』 独立行政法人 国際協力機構発行
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。※

重点教育目標を「主体性、協働性を磨き、グローバル社会を生き抜く力に漲る生徒の育成」と定め、生徒たちが、持続可能な社会の担い手として必要な資質、能力を身につけさせることを目的として活動を展開している。  
課題解決に向け主体的に取り組む姿勢の育成を目指す。  
 課題解決に向け他者と協働しながら取り組む姿勢の育成を目指す。  
 批判的思考力の育成を目指す。  
 他者と豊かなコミュニケーションを図ることができる能力の育成を目指す。  
 データや情報を正確に分析しながら、受信、発信できる能力の育成を目指す

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

ESD カレンダーを作成し総合的な学習、特別活動、道徳、各教科での年間指導計画を立て、全教職員共通理解のもと取組を進めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

農業体験、校外清掃活動、アイヌ文化学習、世界を知る授業では、感想シート、自己評価シートを教師が分析して評価し、評価コメントを生徒に伝える。  
 講師を招き実施した授業や、地域の方々に協力いただいた場合には、それぞれからコメントをいただき、生徒に伝える。  
 上記以外は、プレゼンテーションや発表内容、話し合い内容や取組の姿勢・参加態度を教員が観察評価し、評価コメントを生徒に伝える。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

学校便り等による保護者・地域住民への活動の内容・成果の発信。学校祭での生徒によるプレゼンテーション。  
保護者・地域住民に ESD の推進拠点としての活動の理解を深めることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）

幌加地区環境保全会との協働作業  
千歳市適応指導教室生徒との交流

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

地域に根差した活動を行うことで、地域社会の担い手としての意識を高めることができた。

アイヌ文化学習を進めることにより北海道の先住民族であるアイヌ民族の文化、歴史への理解が深まるともに、文化の多様性の尊重などの価値観を育てることができた。また、人権の意義を理解し、人権意識を高めることができた。

(3) 平成 30 年度の活動計画

1. 地域に根差した活動

- (1) 農業体験学習（全学年 4月～9月 総合的な学習）
- (2) 校外清掃活動（全学年 6月 総合的な学習）
- (3) 下の旬カルタ大会の開催（全学年 10月～12月 総合的な学習）
- (4) アイヌ文化学習（全学年 10月 2時間 道徳）

2. 世界に目を向けた活動

- (1) 募金活動及び国際交流（全学年 9月 総合的な学習）
- (2) 世界を知る授業（全学年 2時間 12月 総合的な学習）
- (3) 英語暗唱大会への参加（全学年（希望者）10月 課外活動）